

札幌コンサートホール主催事業について

概要

札幌コンサートホールは、平成9年の開館以来、「芸術文化の環境創造」、「芸術文化の普及振興」の2大基本方針のもと、年間おおよそ40～50本の主催事業を実施しています。多様な市民の要望に応えるため、世界的なオーケストラや演奏家の招聘をはじめ、札幌交響楽団や地元演奏家による企画、Kitaraの特色のオルガン事業など様々なジャンルにわたり、公演やセミナー事業を展開しています。

(1) 基本方針

ア 「芸術文化の環境創造」～優れた音楽を鑑賞できる機会を提供する

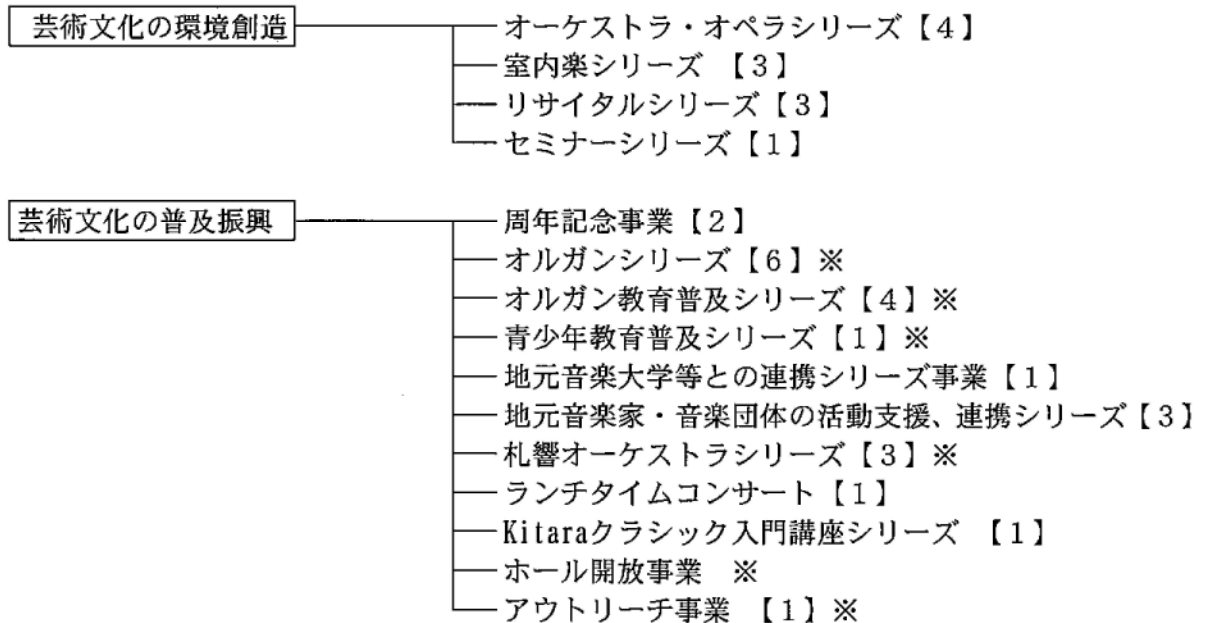
・音楽専用ホールならではの優れた音響特性を生かし、海外・日本のトップクラスの演奏家による高度な演奏技術を鑑賞する機会を提供するとともに、音楽による国際交流を推進し、札幌独自の芸術文化の環境を創造する。

イ 「芸術文化の普及・振興」～札幌独自の音楽財産を生かし、市民に身近な音楽文化の普及振興を図る

・開館以来取り組んできた札幌の貴重な音楽財産を活用する事業や音楽愛好者や青少年を対象とした未来の音楽家育成事業を継続し、札幌独自の音楽文化を築く事業として積極的に取り組むとともに、札幌コンサートホールの特色である大ホールのパイプオルガンを活用し、新しいオルガン文化の創造を図る。

(2) 札幌コンサートホール主催事業の体系

【】は24年度事業数で34事業（43公演、7セミナー・講座含む）



※には子ども対象のプログラム、子ども料金設定公演事業を含む【計10事業】

